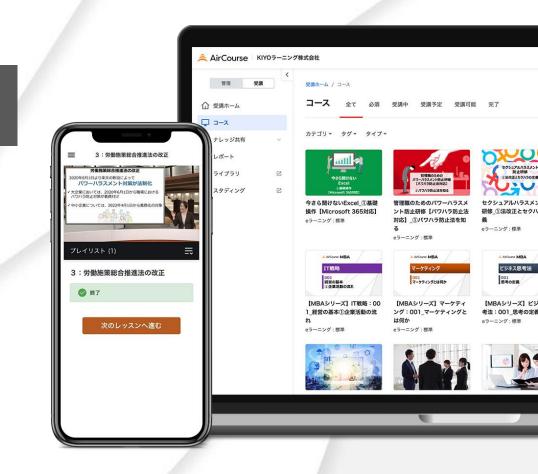




テレワークでの人材育成を検討中の企業必見!

eラーニングの導入・切り替え時に押さえるべきポイントとは?



テレワーク下の人材育成における課題

「例年実施している集合研修を行えない」



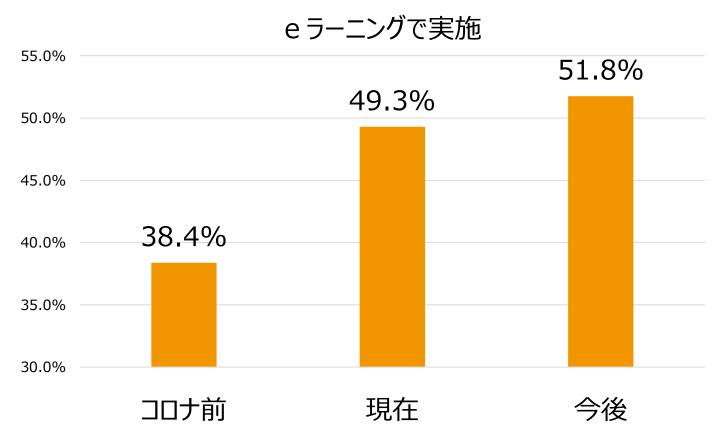
- ▶ 「社員一人一人に合わせた育成施策を実施したいが 社内の育成リソース(講師・コンテンツ)が足りない」
- ▶ 「対面で仕事のサポートができないので、 OJTが機能せずノウハウの属人化が進んでしまう」



新型コロナウイルス感染拡大以降高まり続けるeラーニングのニーズ

eラーニングのニーズは増加しておりAfterコロナでも増加し続ける見込み

Q:社員研修(新卒、中途、社員向け)について、コロナ感染拡大前・現在・今後の実施方法は?



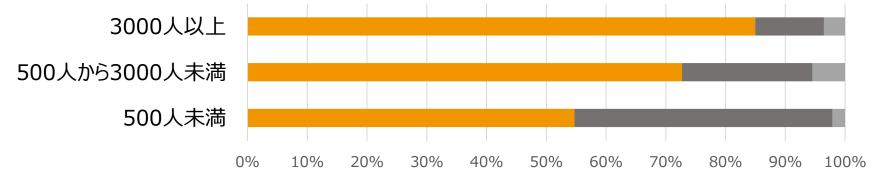
出典:株式会社アイ・ティ・アール「コロナ禍の社員教育に関する影響調査」(2021年2月調査)をもとに当社作成

【従業員規模別】eラーニングの導入・検討状況

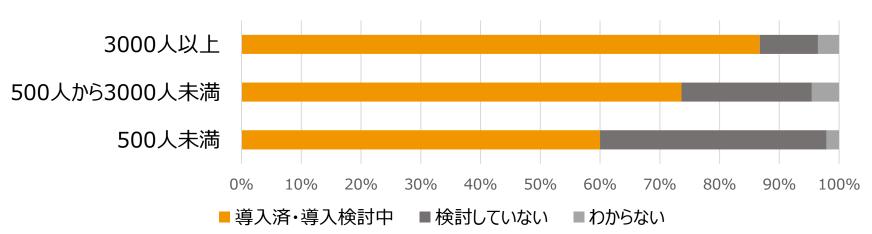
3000人以上の大企業の8割が「eラーニング」を導入済・導入検討中

Q:ITを活用した社員教育、企業内研修方法について、以下の項目にあるそれぞれについての導入状況をお答えください。

eラーニング (内製コンテンツ)



eラーニング (既成コンテンツ)



出典:株式会社アイ・ティ・アール「コロナ禍の社員教育に関する影響調査」(2021年2月調査)をもとに当社作成

eラーニングを活用するメリット

1. どこでも受講できる

- 自宅でもサテライトオフィスでも受講できるのでテレワーク環境下に最適
- 平等な学習機会を提供できる(遠隔地・多拠点の教育に向いている)

2. いつでも受講できる

在宅勤務の空き時間などを効率的に活用できる

3. 何度でも繰り返せる

- 分からないところは何度でも受講できる
- 一度作成すれば何度でも利用できる

4. 内容を標準化できる

教える人による内容のバラつきをなくせる

5. 集合研修に比べて費用が安い



eラーニング導入検討中企業の声

実際の声

- コンテンツを作成するリソースが社内にない…
- 汎用的なビジネススキルをまずは学習させたい
- 社内にあるノウハウを簡単にeラーニング化したい
- ただ受講させるだけでなくアンケートやテストも オリジナルで作成したい
- 社員が本当に受講してくれるか不安…
- 社員数が多いので組織単位での受講管理ができないと困る…
- システムに不慣れな社員が多く、問い合わせが殺到するのではないか…
- はじめてeラーニングシステムを導入するので使い こなせないかも…

検討時に確認すべきポイント

- すぐに使えるコンテンツが 揃っているか
- 自社コンテンツ、テスト、アンケートを簡単に作成できるか
- **管理機能が充実しているか**
- リマインドや通知ができるか

- システムが使いやすいか
- 受講者、管理者が迷わないか

eラーニング導入・切り替え時に押さえるべきポイント

ポイント①

すぐに使えるコンテンツが揃っているか

自社オリジナルコンテンツ作成機能だけでなく、 汎用的な知識・スキルを学習できる既成のコンテンツは用意されていますか?

教育したいすべてのコンテンツを自社で用意するには多くのリソースが必要となります。汎用的な内容のものであれば、外部のサービスを上手く活用して社内リソースを有効活用しましょう。eラーニングシステムは導入して終わりではありません。長期的な継続運用を見越して運用負荷が低いサービスを検討することが大切です。**必要な研修内容のコンテンツが揃っているか**は確認しておいたほうがいいでしょう。

ポイント②

自社コンテンツ、テスト、アンケートを簡単に作成できるか

自社の研修やノウハウを簡単にeラーニングコンテンツ化できますか? 作りたいテストやアンケートを柔軟に作成できますか?

自社にある研修やノウハウを動画にしてコンテンツ化したい場合は、専用の機材等が不要で**簡単にコンテンツ化できるシステム**を選びましょう。また効果測定を行う上で、テストによる知識定着度の確認やアンケートによる満足度調査は重要です。「合格ラインが設定できるか」「ランダム出題できるか」といった、**自社の要件に柔軟に対応できるものか**は、事前に確認してみてください。

eラーニング導入・切り替え時に押さえるべきポイント

ポイント③

管理機能が充実しているか / リマインドや通知ができるか

受講促進のための通知・リマインド機能や、 組織階層ごとに受講管理できる機能はついていますか?

eラーニング導入時に、社内周知を1度しただけで受講が進む企業は滅多にありません。定期的なリマインドや告知は必須事項と言ってもいいですが、管理者側としては非常に手間がかかります。そのため**リマインドや通知を自動かつ柔軟な設定で対応できる機能があるか**は必ず確認しておきましょう。また受講状況を全社単位でしか管理できないと部門単位での運用ができなくなるため、**組織階層ごとに管理ができるか**も押さえておきたいです。

ポイント4

システムが使いやすいか / 受講者、管理者が迷わないか

受講者・管理者の両方が操作しやすいシステムになっていますか?

この操作性が検討時に特に漏れやすいポイントです。どんなに機能が充実していても、どんなに安価であってもシステムが使いにくいと導入 後が大変です。管理者側が使いやすいのはもちろん、**システムに不慣れな社員であっても操作しやすいシステム**を選びましょう。無料デモを 使用できるシステムを選び、実際にeラーニングを受講する社員にも操作性を試してもらうのがおすすめです。

クラウド型eラーニング「AirCourse」なら

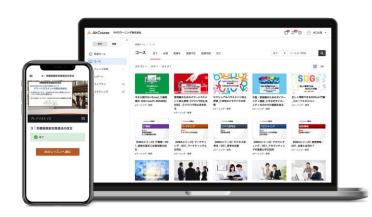
ポイント①

すぐに使えるコンテンツが揃っているか

新人研修やコンプライアンス、ビジネススキル、MBAなど、 幅広いニーズに応える動画研修が受け放題



自社コンテンツ、テスト、アンケートが簡単に作成できるか



- ▶ テストの出題形式は**○×式、単一選択式、複数選択式、空欄記述式**に対応
- ▶ ランダム出題、制限時間、合格ライン、問題ごとの配点も自由に設定可能

ポイント③

管理機能が充実しているか / リマインドや通知ができるか

- ▶ 自動リマインド機能はもちろん、特定の受講者にシステム内からメール送信も可能
- ▶ ぱっと見で分かりやすい視聴確認レポートに加え、組織管理機能も充実

ポイント4

システムが使いやすいか / 受講者、管理者が迷わないか

▶「マニュアルを見なくても直感的に操作できる」「受講者からの問い合わせが発生しない」 と好評をいただいている操作性が高いシステム

AirCourseとは

人材育成の様々なお悩みを解決するクラウド型の動画eラーニングサービスです

<AirCourse 4つの特長>

動画研修コンテンツが 受け放題



自社オリジナルコースを カンタンに作成・配信



充実した管理機能と 圧倒的な使いやすさ



受け放題プランでも 低価格



こんなお悩みを解決できます!

- ✓ 例年実施している集合研修を行えない
- ✓ 社内の教育コンテンツが不足している
- ✓ 現場業務の教育(OJT)が不十分
- ✓ テレワークや他拠点のスタッフ教育が難しい
- ✓ 研修管理業務が忙しい

AirCourse導入実績

優良ベンチャーから東証一部上場企業まで人材育成のプラットフォームとして活用中

























フジ産業株式会社 | 豊田通商グループ

順不同、一部抜粋

AirCourseの活用方法例

事前インプット学習や役職者向け研修、社内検定制度など幅広く活用できます



株式会社ネオキャリア様

Withコロナ環境の 新施策として eラーニングを徹底活用

【活用方法概要】

- 全社員向けのコンプライアンス啓蒙
- 新入社員教育 (ビジネスマナー、社内ルール等)
- 内定者研修の事前学習
- 階層別研修でのオンライン研修との組み 合わせ(事前インプット学習)



リノベる株式会社 様

AirCourse導入により 研修業務の50%の 時間削減を実現

【活用方法概要】

社外向け

- フランチャイジー(加盟店)の 新入社員教育
- サービス、営業研修 社内向け
- ◆ 役職者別研修 (テストを用いた ウィークポイント分析を含む)



株式会社SHIFT 様

ムーブメントにまで発展した社内検定試験制度により、受注単価15.2%アップを実現

【活用方法概要】

- 入社者研修の事前学習
- 社内検定試験制度の学習から 試験までワンストップ管理
- 外部向け教育機関「ヒンシッ大学」 にてeラーニング講座の提供



株式会社MS-Japan 様

AirCourseを活用して 組織拡大と教育体制の 強化を両立

【活用方法概要】

- インサイダー取引に関する 自社オリジナルコンテンツ配信
- セクハラ・パワハラや新人向けの 汎用的な研修を標準コースで学習

詳細説明・デモ・見積りなどのご相談がございましたら、 お気軽にお問合せください。

お問い合わせ

詳細・無料お試しはこちらから!

https://aircourse.com/

エアコース

検索

会社概要

■ 社名 : K I Y O ラーニング株式会社 https://www.kiyo-learning.com/

■ 事業内容 : インターネットを利用した教育サービスの企画・開発および販売

■ 設立: 2010年1月4日(事業開始2008年10月)

■ 証券コード: 7353 (東京証券取引所 グロース市場)

■ 資本金 : 7億9945万円(資本準備金7億8945万円)

■ 所在地 : 東京都千代田区永田町2-10-1 永田町山王森ビル4F ☎ 03-6434-5068

■主要事業 :



可能性を現実に 資格取得者向けオンライン講座 https://studying.jp/



企業向け社員教育クラウドサービス https://aircourse.com/

- ■受賞歴
 - ベストベンチャー100(2018年、2019年)
 - 日本経済新聞 NEXTユニコーン調査 72位(2018年12月)

